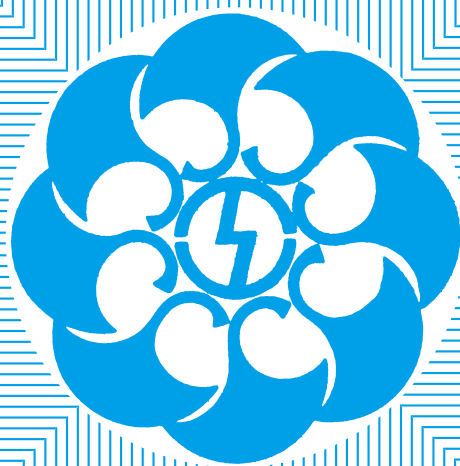


会 報



一般社団法人
神奈川県空調衛生工業会

第150号

〔謹賀新年〕



目 次

新年のごあいさつ	会 長 有井 清	1
新年のごあいさつ	神奈川県知事 黒岩 祐治	2
新年のごあいさつ	横 浜 市 長 山中 竹春	3
新年のごあいさつ	川 崎 市 長 福田 紀彦	4
新年のごあいさつ	相 模 原 市 長 本村賢太郎	5
令和7年 新年賀詞交換会		6
横浜市公共建築工事安全パトロール	安全委員会	7
令和6年度安全講習会開催	安全委員会	9
令和6年度神奈川県震災対策訓練	安全委員会	9
(一社)日本空調衛生工事業協会 第29回全国会議		10
令和7年度安全スローガン選定結果	安全委員会	11
定例理事会議事報告		11
親睦会報告		11
会員に関わるお知らせ		12
新会員紹介		12
今後の行事予定／編集後記		



新年のごあいさつ

会 長 有 井 清

皆様、新年おめでとうございます。令和7年が皆様にとりまして輝かしい一年となりますようお祈り申し上げます。

昨年10月に（一社）日本空調衛生工事業協会の第29回全国会議がここ横浜で開催されました際は多くの会員の皆様にご協力を賜り、おかげ様で無事ホストシティとしての役目を果たすことが出来ました。まことにありがとうございました。

さて、昨年3月に日銀によって17年ぶりにマイナス金利が解除され、物価上昇と賃上げ気運の高まりによってインフレ経済への移行の期待が大いに膨らみましたが、実際には実質賃金のマイナスが続き、デフレ脱却は道半ばでありました。本年こそデフレから脱却し、みんなが好景気を実感できる年となることを期待いたしております。

建設業界では資機材価格の値上り・人手不足・労務費の上昇など、引き続き厳しい条件下での事業運営を強いられている中、私たち空調衛生工事業では技術者の不足により、企業規模を問わず需

給がタイトになりつつあります。すでに人材の獲得競争が激しい状況ではありますが、業界の供給力を維持していくためにも人材の確保と育成は最大の課題であります。昨年4月、時間外労働の上限規制の適用がスタートしました。コンプライアンスの観点からはもちろん、将来の担い手となる若者の入職促進と既に業界で働いてくださっている皆さんのWLBのために、週休二日の定着と残業時間の縮減は絶対に達成しなければなりません。新4Kの実現に向けて本年も働き方改革に取り組んで参ります。

「低炭素」から「脱炭素」へと社会の認識は変化しております。「2050年ネットCO₂排出ゼロ」に向けて『神奈川発!! 地球にいいこと、ひとつずつ』の環境スローガンのもと、これから更に脱炭素社会づくり・地球環境保全に貢献して参りたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



新年のごあいさつ

神奈川県知事 黒岩 祐治

あけましておめでとうございます。

振り返りますと、昨年元旦は、能登半島地震が発生した日でありました。

正月の穏やかな一日を吹き飛ばす突然の大地震に、私自身、大変驚くとともに、いつ起こるか分からない地震災害の恐ろしさを改めて突きつけられた思いでした。

県は、地震発生直後から「災害対策支援チーム」を設置。その後、警察や消防が次々と現地に赴き、被災者の捜索や救助にあたりました。

現地では、断水や停電、通信障害などライフラインの被災が深刻で、在宅避難や住民が自主的に開設したいいわゆる自主避難所などに避難した被災者も多くいたため、避難者の情報の把握と集約ができない事態が生じていました。

こうした状況の中、現地入りしていた本県のCIO（情報部門の責任者）により、通信手段を確保するための衛星通信システムの投入や、行政、自衛隊、DMAT（災害派遣医療チーム）等が別々に収集管理していた避難所情報の集約、広域での避難者マスターデータの構築などが行われました。

神奈川県で進めていた防災DXの仕組みを現地に持ち込み、現場のニーズに即した支援を即座に実現することができました。

能登半島地震の被災地での経験を基に、私たちは防災DXをさらにブラッシュアップさせました。通信の断絶に備えて衛星通信システムを導入したほか、孤立地域や土砂災害現場等の被害状

況を把握する上で有効な赤外線カメラ搭載のドローンの配備等、デジタルを活用した応急活動体制の整備を進めています。

県政課題へのデジタルの活用は、こうした災害分野に止まりません。

例えば、子ども子育て分野。令和5年12月に導入したLINE公式アカウント「かながわ子育てパーソナルサポート」は、デジタルを活用することにより、お住まいの地域やお子さんの年齢に応じた情報支援を可能とした取組で、すでに5万人を超える方にご利用いただいているほか、医療分野においても、オンライン診療の活用や、地域における患者情報の共有が進められています。

そして建設分野においては、人手不足等に対応するため、地域の守り手である建設業の皆様と一緒に、デジタルを活用した工事現場の効率化や、就労環境の改善などに取り組んでいます。私は、4期目の県政運営に当たり「県民目線のデジタル行政でやさしい社会の実現」を掲げました。進歩の著しいデジタルの力を様々な課題の解決に活用し、県民の皆様が抱える「不安」を取り除いていくという考えです。

こうしたデジタルを活用した取組をさらに進め、県民の皆様一人ひとりの「いのち」が輝くやさしい社会の実現を目指し、本年も全力を尽くしてまいります。

結びに、新しい一年が、県民の皆様にとって素晴らしい年になりますことを祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。



新年のごあいさつ

令和7年の年頭にあって

横浜市長 山中竹春

あけましておめでとうございます。皆様が新たな年を迎えられましたことを、心よりお喜び申し上げます。

令和7年は、市民の皆様の安全・安心で心豊かな生活の実現、横浜の持続的な成長・発展に向けて、取組を一層加速させてまいります。

中学3年生までの小児医療費無償化や出産費用の独自助成に続き、子育て世代のゆとりの創出や、来年4月からの中学校での全員給食開始に向けた準備など、「子育てしたいまち」に向けた取組を更に前進させてまいります。また、医療・福祉や地域交通の充実、防犯対策、社会経済情勢に対応した支援にも取り組み、あらゆる世代の市民・事業者の皆様をしっかりとお支えしていきます。

昨年元日に発生した能登半島地震から1年。いつ起きてもおかしくない大規模地震から市民の皆様の命と暮らしを守るため、これまでの防災戦略を「市民目線」で抜本的に見直し、発災前からの備えの強化や本市初の広域防災拠点の整備など、地震防災対策を大幅に強化し、「災害に強靱なまち」にしていきます。

国内外の人を惹きつけるため、国内随一の美しい水際線を世界に誇る観光資源に磨き上げるとともに、公共空間の活用や民間企業との連携などにより、横浜ならではの魅力あるまちづくりを進め、賑わいを生み出していきます。

気候変動が急速に進む中、横浜のかけがえのない環境を将来世代に引き継ぐためには、一人ひとりが、地球環境や自然・植物と共生する意識を持ち、行動していくことが鍵となります。

2年後には、環境と共生し、皆様と共につくる「環共」がテーマの国際博覧会「GREEN×EXPO 2027」を横浜・上瀬谷で開催します。博覧会の成功とその先の持続可能な社会の実現に向け、環境に配慮したライフスタイルや、企業価値を高める脱炭素経営の後押しなど「地球にも人にもやさしいまち」に向けた取組を強力に推進していきます。

今年も、市民・事業者の皆様の「声」を大切にすることを第一に、誰もが「住みたい、住み続けたい」と思えるまちの実現に向け、全力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



新年のごあいさつ

川崎市長 福田 紀彦

新年、あけましておめでとうございます。

皆様にとりまして、今年一年が明るい話題にあふれ、実りの多い良い年になりますようお願いいたします。

昨年を振り返りますと、川崎市が市制一〇〇周年という歴史的な節目を迎え、全国都市緑化かわさきフェア等を通じて、多くの市民の皆様と喜びを分かち合うことができました。一方で、昨年は元日から能登半島地震が発生したほか、豪雨災害も多く、本市においても、全市域で避難所を開設するなど、改めて災害を自分事として考えることの大切さを実感した一年でもありました。本市でも、被災地に寄り添った支援に取り組んでまいりましたが、こうした災害への対策を含め、次の一〇〇年に向け取組を進めてまいります。

本市では、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を推進するとともに、安心して子育てができるよう、周産期支援の充実や、病児保育の対象年齢拡大など、「安心のふるさとづくり」に取り組んでまいります。

こうした取組を支えるためには、社会経済状況や産業構造の変化に適切に対応しながら、「力強い産業都市づくり」を進めることが重要です。運転手不足の深刻化など、地域交通環境の変化に対応して、自動運転バスやデマンド交通の実

証運行を行っていくほか、世界最先端の研究開発機関や企業が集積する臨海部では、引き続き、水素を軸としたカーボンニュートラルなエネルギーの供給拠点形成に向け、取組を加速してまいります。

また、廃棄物処理施設の中長期的な整備構想を策定するとともに、プラスチック資源一括回収の対象地域を南部の3区に拡大するほか、地球温暖化対策等の推進に関する条例に基づき特定の建築物や事業者について太陽光発電設備導入を義務付ける制度の開始などにより、カーボンニュートラルの実現に向けて、オール川崎で新たな取組に挑戦してまいります。併せて、川崎駅や新百合ヶ丘駅、鷺沼駅、登戸駅周辺地区など、魅力にあふれた広域拠点や、地域生活拠点の形成を進めてまいります。

複雑化・多様化する地域課題の迅速な解決や、将来にわたる持続的な発展のためには、大都市が自らの権限や財源で効率的かつ機動的な行政運営を行っていく必要があることから、「特別市」の早期法制化に向けて取り組んでまいります。

引き続き、「成長」と「成熟」の調和する「最幸のまち かわさき」の実現に向けて取り組んでまいりますので、皆様の御協力をお願いいたします。



新年のごあいさつ

相模原市長 本村 賢太郎

神奈川県空調衛生工業会の皆様におかれましては、喜びに満ちた新年をお迎えのことと存じます。

貴会におかれましては、地域産業を担う人材の育成や、快適な生活環境の創造と脱炭素社会の実現に向け、多大なるご貢献をいただいておりますことに深く敬意を表しますとともに、厚くお礼申し上げます。

去年は、1月1日に発生しました能登半島地震や、夏に各地で頻発した台風による大雨など、大規模な災害が相次ぎ、各地に大きな爪痕を残しました。被災されました皆様、並びにそのご家族の皆様にご心からお見舞いを申し上げますとともに、被災地の日も早い復興を切に願っております。

そのような中、去年は市制施行70周年の節目を、市民の皆様、本市にゆかりのある皆様とともに祝いいたしました。先人たちの英知とご尽力に改めて敬意を表しますとともに、引き続き「都市と自然のベストミックス」という本市の魅力を最大限に生かし、30年後に迎える市制100周年においても、市民の皆様が誇りを持ち愛するまちであり続けるように、さらなる飛躍と発展を遂げるための礎を築いてまいります。

本年は、温かく見守られながら安心して子育てすることができる社会を実現するための条例や、DXの推進によって生活の利便性の向上を図るための条例の制定のほか、令和8年12月に中学校給食の全員喫食を開始できるよう学校給食センターの整備と開業準備を進めるなど、未来につながる様々な施策を実行してまいります。また、特に「まちづくり」の分野につきましては、リニア中央新幹線の駅が設置される橋本駅周辺において、県立高校の跡地を中心とした土地区画整理事業や街路事業を着実に進めるほか、相模原駅北口地区について土地利用計画の検討を進めてまいります。

引き続き、多くの人に選ばれる「幸せ色あふれる相模原」を目指し、住みたい、住み続けたいと思える、快適で活力のあるまちづくりを進めるとともに、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現に向けて、未来にはばたく若者や子どもたちに希望のたすきをつなげてまいります。

結びに、貴会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

令和7年 新年賀詞交換会



黒岩 祐治
神奈川県知事



山中 竹春
横浜市長



柳下 剛
神奈川県議会議員



鈴木 太郎
横浜市長



菅 義偉
副総裁・衆議院議員



桐生 秀昭
神奈川県議会議員



佐藤 祐文
横浜市長



高橋 広幸
(一社)日空衛専務理事

当工業会主催の「令和7年 新年賀詞交換会」を1月17日(金)午前11時から、ホテル・ニューグランド・ペリー来航の間で開催しました。

当日は、黒岩神奈川県知事、山中横浜市長をはじめとする来賓をお招きするとともに、正会員、賛助会員など229名が出席しました。

主催者を代表して挨拶に立った有井清会長は、まず、昨年10月に（一社）日本空調衛生工事業協会第29回全国会議が地元横浜で盛会に開催できたことを感謝し、関係者に対し謝辞を表しました。

続いて、資機材価格の高騰や技術者の絶対的不足など近年の業界を取り巻く厳しい環境の中で、当会が実践している働き方改革、人材確保、災害対策、脱炭素社会づくり等に触れ、引き続き会員への協力を求めるとともに、2年後に迫ったグリーンエキスポへの協力を約して、挨拶を締めくくりました。

次に、来賓を代表して黒岩知事、山中市長、柳下県議会議員、鈴木横浜市長よりご祝辞を賜り、当会顧問の菅義偉衆議院議員からはビデオメッセージを、桐生秀昭県議会議員、佐藤祐文横浜市長からもご祝辞を賜りました。

ご祝辞の後、日空衛の高橋専務理事の乾杯の発声で祝宴に移り、和やかな懇談のなか、盛会のうちに閉会しました。



横浜市建築局 横浜市公共建築工事安全パトロール 安全委員会

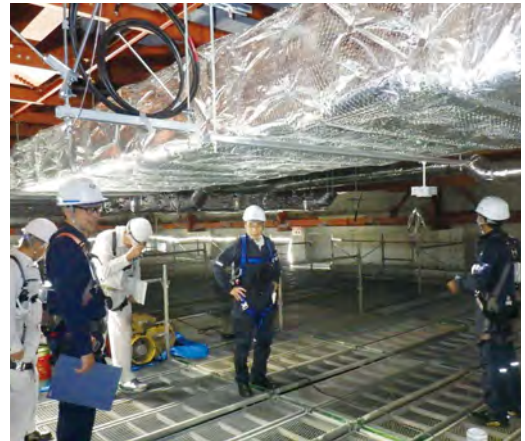
第54回横浜市公共建築工事安全パトロール（令和6年度）は、10月31日(木)に横浜市発注の4現場（請負数5）について、安全パトロールを実施しました。

【安全パトロール班編成、パトロール現場】

班	氏 名	会 社 名	パトロール現場
1班	桑田 義行 林 弘道	エルゴテック(株) (株)朝日工業社	① 都築スポーツセンター天井改修その他工事 ② 横浜能楽堂改修工事
2班	下出 健 中桐 成浩	(株)光電社 三沢電機(株)	① 二俣川小学校建替工事 ② 万騎が原小学校建替工事（第1工区）

【重点目標】

1. 高所作業における安全確保
・ 足場・脚立等からの転落落下防止措置
・ 危険個所における墜落制止用器具の取組み状況
2. 安全な作業空間の確保
・ 作業ヤードの整理整頓
・ 作業ヤードと共用通路の区画、段差措置
3. 仮設電気設備の安全対策
・ 電路系統先表示、漏電防止措置、点検状況
4. 作業員の健康管理
・ 熱中症防止対策



上記4項目を重点目標とし、安全パトロールチェックリストをもとにパトロールを実施致しました。パトロール対象現場の平均出来高は22.4%（令和5年度10.0%）で、平均請負金額は16,898万円/件（令和5年度19,374万円/件）という状況でした。

パトロール点検項目は、30項目/現場（令和5年度28項目/現場）で昨年とほぼ同等の状況でした。また、今年度パトロール対象の4現場（請負数5）のうち、空調設備工事と衛生設備工事が分離発注されている現場が1件、空調設備工事と衛生設備工事が同一発注されている現場が2件という状況でした。

5請負の内、当日2現場で設備作業員が入場し作業を行っておりました。どの現場も場内はよく整理

整頓されており、資機材置場、作業場（加工場含む）もきちんと整理されており「作業場の整理整頓、通路の安全確保」はなされているのを確認しました。

効果的なKY活動についても、すべての現場で作業員自身によるリスクアセスメントが実施されており、活動が徹底され浸透していると感じました。点検項目の評価としては、「A評価」「B評価」の合計比率が100%（令和5年度97,40%）と高い評価であり、毎年実施される本パトロールへのご理解が浸透された結果と評価しております。一部で書類や安全活動に工夫の余地があり、より良くする為の助言などもさせて頂きましたが、安全管理に対する意識は高い状態であると判断できました。



◎ 横浜市公共建築工事安全パトロールに参加して

安全委員会委員
エルゴテック株式会社 桑田 義行

令和6年10月31日(木)横浜市建築局、(一社) 横浜建設業協会、(一社) 横浜市電設協会と当神奈川県空調衛生工業会による合同安全パトロールが実施されました。

本年度で第54回を迎えた合同安全パトロールの工事内容については、学校が2件、スポーツセンターが1件、他に横浜能楽堂を加えた4件（請負業者5社）で実施されました。4件中2件が新築工事、2件が改修工事という内容でした。工事金額においては2億円台から2千万円台まで様々ありましたが、昨年と比較すると1件あたりの平均工事金額が約1.7億となっており、昨年の1.9億と比較してほぼ横ばいとなっています。

今回の安全パトロール重点目標については、『高所作業における安全確保（足場等からの転落落下防止措置、危険箇所における墜落制止器具の使用状況』・『安全な作業空間の確保（作業ヤードの整理整頓、作業ヤードと共用通路の区画、共用通路の段差措置）』・『仮設電気設備の安全対策（電路系統先表示、漏電防止措置、点検状況）』・『作業員の健康管理（熱中症防止対策）』の4点を掲げ、現場巡視と安全書類の確認を実施しました。

当日は1件目である、都筑スポーツセンター天井改修その他工事の現場事務所に関係者が集まり、現場代表者より工事概要説明及び進捗状況説明を頂き、建築、電気、機械合同でパトロールを開始しました、空調・衛生設備工事の進捗率80%

で、第一体育館と第二体育館の天井内ダクト工事施工中という状況でした。当日の作業員は無し（ダクト工場製作中）という事で実際の作業はほとんど確認することはできませんでしたが、重点目標である安全な作業空間の確保が確実に行われていることを確認し、現場事務所が設けられない環境の中で、安全書類関係も整備されておりました。作業手順書の作業者への周知の記録や足場上での小さな資材（ビスや保温鋏など）の落下対策について、下階の安全通路の見直しや落下防止ネットの範囲など改善の提案をさせて頂きました。

2件目の横浜能楽堂改修工事は、施設の特性上、宮大工さんによる施工など通常の現場とは違った部分があり、工程調整や既存仕上り物に対する養生対策など、ご苦労が多いという点などを現場代理人の方から説明を受けました。空調・衛生設備工事の進捗率は約14%程度という状況で、建築工事の工程に合わせて、空調衛生設備工事を進めていました。

合同パトロールに参加させて頂き、様々な現場で各社様の取組みを拝見し、意見交換もさせて頂く中で、パトロールする側の私たちが参考にさせて頂く事もありました。

本パトロールは今回で54回を数える歴史あるパトロールです。各現場ではチェックリストを活用した事前の自主点検の対応など、日頃の安全管理を見直す機会として有効なイベントであったと思いますし、これからもそうあるべきだと思っています。

最後に、パトロールをして頂いた安全委員の皆様、現場で準備して頂きました各社現場代理人の方々、大変お疲れ様でした。



「足場の組立て等の業務に係る特別教育」開催 安全委員会

安全委員会主催令和6年度安全講習会「足場の組立て等の業務に係る特別教育」を下記のとおり開催しました。

開催日 令和6年11月18日(月)
会場 神奈川県建設会館
受講者 8名
講師 建設業労働災害防止協会神奈川支部
専任講師 山内 祥嗣 氏



受講内容 ①足場及び作業の方法に関する知識
②工事用設備、機械、器具、作業環境等に関する知識
③労働災害の防止に関する知識
④関係法令

神奈川県県土整備局による神奈川県震災対策訓練行われる 安全委員会

令和6年11月21日(木)に「神奈川県公共建築物に係る地震時の点検等の協力に関する協定」に基づき、大規模地震発生時の迅速な拠点施設の確保に向けた自動出動訓練が実施されました。

神奈川県と出動協定をしている建設7団体の（一社）神奈川県建設業協会、（一社）神奈川県電業協会、（一社）神奈川県空調衛生工業会、（一社）横浜建設業協会、（一社）川崎建設業協会、（一社）川崎市空調衛生工業会及び神奈川県中小建設業協会から各会員が参加し、当工業会からは、自動出動会員6名（5社）が訓練に参加しました。

◇訓練対象施設

平塚合同庁舎、平塚保健福祉事務所、横浜川崎治水事務所川崎治水センター、
神奈川警察署、港南警察署、津久井警察署

◇今回の震災訓練に参加し、ご協力をいただいた会員会社（順不同・敬称略）

川本工業(株)、(株)川合工業所、(株)光電社、清進電設(株)、共栄産業(株)

(一社)日本空調衛生工事業協会 「第29回全国会議」 横浜で開催



河合 雅司 氏



大川 哲郎 氏



野並 晃 氏

(一社)日本空調衛生工事業協会の第29回全国会議を10月17日(木)、18日(金)に横浜市西区にある横浜ロイヤルパークホールで開催しましたので概要をご報告します。

1 概 要

行事	開催日	開催時間	会場	出席者等
全国会議	10月17日	午後1時30分～5時15分	3階鳳翔A・B	427名
懇親会		午後5時～7時20分	3階鳳翔C・D	435名
記念旅行	10月18日		崎陽軒横浜工場他	53名

2 全国会議

藤澤会長は、冒頭のあいさつで、将来の担い手を確保していくためには働き方改革が不可欠で、令和6年度末に新たな行動計画の策定を目指すこと、加えて今年5月に公表した「空調衛生工事業のカーボンニュートラル行動計画」に基づき脱炭素への貢献も進める決意を述べ、続いて、国土交通省不動産・建設経済局の平田局長より来賓のご挨拶がありました。

【講演の概要】

	テーマ	講演者
講演1	人口減少日本で起きていること ～建設設備業のこれから～	河合雅司氏 (ジャーナリスト)
講演2	SDGsを活用した地域中小企業による 新たな需要開拓	大川哲郎氏 (株)大川印刷代表取締役社長)
対 談	異業種に学ぶ「ローカルの『味力』」は 世界に通ず ～横浜に生まれ116年崎陽軒四代目の挑戦～	野並 晃氏 (株)崎陽軒代表取締役社長) 有井 清氏 (一社)神奈川県空調衛生工業会会長)
報 告	新たな中期ビジョン「日空衛2025」	加賀美 猛氏 (一社)日本空調衛生工事業協会副会長)
P R	「2027年国際園芸博覧会」	小池 政則氏 (公財)2027年国際園芸博覧会協会事務次長

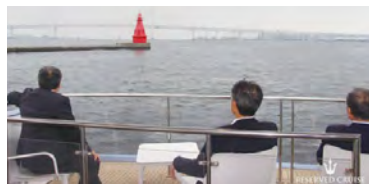
3 懇親会

藤澤会長の挨拶に続き、地元を代表し黒岩祐治神奈川県知事、山中竹春横浜市長に来賓のご挨拶を、地元神奈川県空調衛生工業会の顧問である菅 義偉元内閣総理大臣からはビデオメッセージをいただきました。

歓談中のアトラクションは、獅子舞(日本横濱中華學校校友會)、変面(神技 張海輪)、ジャズミュージック(グレース・マーヤトリオwith内田朱織)と地元横浜ゆかりの構成としました。最後に、次回開催地富山を北陸支部の皆さんが熱弁とビデオ映像で紹介して盛会のうちに終わりました。

4 記念旅行

- ホテル 🚌 崎陽軒横浜工場見学
- 🚌 崎陽軒本店(昼食)
- 🚌 横浜港クルージング



令和7年度安全スローガン選定結果 ～最優秀賞が令和7年度安全ポスターに採用～ 安全委員会主催

会員の皆様から作品を募りました令和7年度安全スローガンにつきましては、170名の方から291作品という多くの応募をいただきました。厳正な選定審査の結果、最優秀賞1点、優秀賞2点が決定しました。

選定された作品は以下のとおりです。

【選定結果】

区 分	ス ロ ー ガ ン	会社名	氏名
最優秀賞	安全は正しい手順の積み重ね 意識を高めて摘み取る危険 目指すゴールはゼロ災職場	興和工業(株)	塚原 久美子
優 秀 賞	次世代につなげよう 技術と知識と安全意識 怪我しない、させないことも プロの技	興和工業(株)	小堀 倫
	自分の掛けた一言が 仲間の事故を防ぐカギ 声を掛け合い安全行動	アズビル(株)	味田 賢一

最優秀賞の作品につきましては、当会が独自に製作する令和7年度安全ポスターに採用し、新年度当初に会員の皆様にお届けします。

また、選定された3作品につきましては、5月に予定している表彰式で副賞を添えて表彰いたします。

定例理事会議事報告（12月）

12月定例理事会

令和6年12月12日(木)午後4時15分から第613回定例理事会が開催され、次の事項が協議され、原案どおり承認されました。

【協議事項】

1. 「令和7年 新年賀詞交換会」実施要領について
2. 賛助会員の入会申込みについて
3. 高校生を対象とした「会長賞」表彰規程の改正について
4. 令和6年度 高校生を対象とした「会長賞」表彰式について
5. かながわPPP/PFI地域プラットフォームへの参加について

親 睦 会 報 告

◎令和6年度後期釣大会

渉外委員会主催の釣大会が、令和6年12月18日(水)に金沢漁港「三春丸」において10名が参加して行われました。
上位入賞者は次のとおりです。

優 勝 相 澤 有一郎 〔株〕小 松 工 業〕
準優勝 福 山 和 弘 〔川 本 工 業 (株)〕



優勝者 相澤有一郎氏



釣大会参加者の皆様

会員に関わるお知らせ

《正会員》

株式会社ヤマト				
変更年月	変更事項		新	旧
令和7年1月	横浜支店	事業所代表者	支店長 小沼 庸一	執行役員 支店長 堀込 貴

《賛助会員》

株式会社荏原製作所				
変更年月	変更事項		新	旧
令和7年1月	神奈川支店	事業所代表者	神奈川支店長 宮崎 紘介	神奈川支店長 井澤 誠雄

ダイキンHVACソリューション東京株式会社				
変更年月	変更事項		新	旧
令和7年1月	神奈川営業本部	事業所代表者	取締役 神奈川営業本部長 小林 俊彦	取締役 営業本部長 秋元 壮一

新 会 員 紹 介

《賛助会員》

(令和6年12月入会)

- ・ 有限会社 安 田
取締役 社長 安田 実
〒230-0034 横浜市鶴見区寛政町23-19
TEL 045-505-2327
FAX 045-505-2328



弁護士法人

萬國橋法律事務所

業務内容

- 不動産関連（明渡し、借地、借家）
- 契約
- 企業法務
- 相続関連（遺産分割・遺留分・遺言）
- その他各種法律問題ご相談ください

〒231-0002

横浜市中区海岸通4丁目18番地 空調衛生会館6階

TEL : 045-680-0260 FAX : 045-680-0269

info@bankoku-law.jp



SINKO 空気デザイン株式会社
A/R DESIGN COMPANY

空気をデザインする会社 AIR DESIGN COMPANY

空間によって、求められる空気の「質」も変わります。

私たちはそこで過ごすヒトやモノに配慮しながら空気をデザインする。
ひとつひとつオーダーメイドで、その場所にふさわしい、最適な空気質をつくる。
心地よいと感じる「空気」があって、はじめて、
そこに居たいと感じる「空間」ができる。

そう信じているから。




健康空調

UVCランプで細菌やウイルスを除去し、クリーンな空気をつくります。
見えない恐怖からあなたの大切な空間を守ります。

オクージオ

室外機一体型で省スペース。現地での冷媒配管工事や試運転調整の手間が無く、手軽に新鮮外気量を増やせます。

新晃工業株式会社 www.sinko.co.jp

本社 Tel/06-6367-1811	大阪支社 Tel/06-6367-1801	 お問い合わせはこちら
東京支社 Tel/03-5640-4155	名古屋支社 Tel/052-581-8661	

つくる人に最適を。 くらす未来に快適を。





日本管材センター株式会社

管工機材・住宅・ビル設備機器・プラント機材・国内外総合商社

本社：〒107-8431 東京都港区赤坂 1-1-14 野村不動産溜池山王ビル
TEL 03(6880)5111(大代表) FAX 03-6880-5115

配送センター：〒136-0082 東京都江東区新木場 3-2-4
TEL 03(3522)1261(代表) FAX 03-3522-1265

EBARA

インバータ内蔵PMモータ搭載 高効率可変速ポンプシリーズ

電源周波数 50Hz/60Hz共用 IVM (Intelligent Variable-speed Motor) 採用

省エネ

省スペース・低インシャルコスト

省力化

取合互換

スマホアプリ

3000/3600min⁻¹ / 0.75~7.5kW / 200V級に対応。
(1500/1800min⁻¹ / 400V級も順次発売予定)

モータ電動形



FSDV型

モータ電動形



LPDV型

モータ電動形



LPSV型

モータ電動形



FS/FSS/FSW型(特殊仕様)

モータ電動形



モータ直結形

PM(永久磁石)モータ+インバータ内蔵を誘導モータと同等の外形寸法で提供。
「省エネ」・「省スペース」・「低インシャルコスト」を実現。

(FSDV型)は高圧・高回転仕様です。

在原製作所 Looking ahead, going beyond expectations
Ahead, Beyond

UCHIDA Super Cocktail

設備工事業向け基幹業務システム

スーパーカクテルCore

設備工事・保守

販売～工事～保守の管理を一元化



内田洋行 ITソリューションズ

〒135-0034 東京都江東区永代 1-14-5 永代ダイヤビルディング

☎ 03-6773-7788

✉ its_info@uchida-it.co.jp

<https://www.uchida-it.co.jp/product/coresetsubi/>

詳しくは
WEBへ

スーパーカクテル 設備工事





会 長 有 井 清 株式会社ヨコレイ	理 事 後 藤 守 利 カナレイ株式会社
副 会 長 阿 部 哲 也 高砂熱学工業株式会社	〃 北 林 雅 彦 新菱冷熱工業株式会社
副 会 長 三 澤 隆 三沢電機株式会社	〃 一 條 雅 宏 エルゴテック株式会社
副 会 長 川 本 敏 之 川本工業株式会社	〃 小 澤 信 株式会社朝日工業社
専 務 理 事 鈴 野 和 重 (一社)神奈川県空調衛生工業会	〃 小 堀 段 興和工業株式会社
理 事 雨 宮 朋 之 須賀工業株式会社	〃 大 橋 真 悟 三機工業株式会社
〃 築 地 正 明 株式会社光電社	監 事 菊 地 達 郎 文化興業株式会社
〃 塚 崎 晃 隆 ダイダン株式会社	〃 野 本 謙 次 興信工業株式会社
〃 小 松 信 幸 株式会社小松工業	〃 奥 津 勉 奥 津 勉 事務所
〃 小 林 範 雄 東洋熱工業株式会社	相 談 役 川 本 守 彦 川本工業株式会社
〃 丹 野 徳 人 株式会社丹野設備工業所	〃 大須賀 洋 株式会社光電社
〃 東 軒 秀 和 熱研プラント工業株式会社	〃 五十嵐 一 喜
〃 朝 倉 保 幸 株式会社アクトエンジニアリング	

今後の行事予定

○ 令和6年度 第2回研修会

日 時：令和7年2月10日(月) 午後2時～
会 場：万国橋会議センター

○ 令和6年度後期ボウリング大会

日 時：令和7年2月21日(金)
場 所：HamabowL

○ 令和6年度 技術講演会

日 時：令和7年2月18日(火) 午後2時～
場 所：波止会場館

○ 第58回定時総会

日 時：令和7年5月16日(金) 午後2時～
場 所：ロイヤルホールヨコハマ

※日程等詳細は、確定次第開催通知をお送りいたします。

編集後記

インフルエンザが流行っています。

NHKの統計によると2024年12月23日～29日の1医療機関あたりの平均感染者数は64.39人。

流行直前の2024年11月4日～10日の1.06人に対し約60倍です。

また今年の同時期と比べても約5倍という数字を叩き出しています。

まだまだインフルエンザの流行は続きます。手洗い・うがい・咳エチケットを励行していきましょう。

筆者も年始に発熱し、ついにインフルエンザに罹患かと思いきやただの風邪でした。

流行りについていけない自分の性分に初めて感謝をした睦月でした。

(S・H)

会 報

第150号 令和7年1月31日

一般社団法人 神奈川県空調衛生工業会

横浜市中区海岸通4丁目18番地 TEL 045 (201) 9536 (代)

URL: <http://www.shinkuei.or.jp> E-mail: info@shinkuei.or.jp

情報委員会 / 印刷 株式会社 ワールドフジ